

重点検討事項

「文化芸術関係者の持続的な活動に向けた支援のあり方について」

1 趣旨

新型コロナウイルス感染症の影響により、芸術家や文化団体、企画制作スタッフ、関係事業者等は活動機会や収入を失うなどの大きな影響を受けた。とりわけ、職業として文化芸術に携わる文化芸術関係者においては、生計の維持が困難になるなど、活動継続（事業継続）にも支障が生じる事態となった。

一方で、県ではこうした文化芸術関係者の活動実態を適切に把握できておらず、このことが支援を行う上での課題となった。また、国においてもコロナ禍で同様の課題が生じている。

このため県では、文化芸術関係者の持続的な活動に向けた課題やニーズを把握し、施策検討や他分野の施策との連携等を進めるため、その基礎情報となる文化芸術関係者の活動実態を適切かつ継続的に把握していきたい。

（関連する重点施策・主な取組）

- 3 文化芸術をつなぎ支える人材の育成・確保
- 4 文化芸術の創り手や継承者の育成・支援
 - ・ 芸術家に必要な支援を届けるため、その活動実態を把握する手法を検討する。

2 今回の論点

- ・ 文化芸術に携わる人の把握について

職業として文化芸術に携わる主体として、どのような領域にどのような人がいるのか。

- ・ 対象者の把握方法について

上記の人を把握するにはどのような方法があるか。（対象者とネットワークを持つ団体やキーパーソンの存在など。）

<文化芸術に携わる人のイメージ>

